

夜間外出禁止令そして国内移動禁止

みなさんこんにちは。相変わらず真夏の太陽がギラギラ輝くホンジュラス・ Cholteca よりレポートです。今日は世界の現実について話しましょう。

実は 11/26 にホンジュラスでは大統領選挙がありました。ホンジュラスでは大統領の任期は4年、それまでは憲法により再選が禁じられていましたが、今回は最高裁判所が再選を認め、9人の候補者の間で激しい選挙戦が繰り広げられました。最終的には再選を狙う現職の大統領（オルナンド氏）と野党の候補者（ナスララ氏）との一騎打ちにもつれ込みました。

そして、大方の予想に反して現職ではなく、野党側も追い上げ、中間発表では野党が有利。最高裁兼選挙管理委員会の結果発表を待たずして双方が勝利宣言。最終的に現職の再選を宣言。ところが、これに野党側が投票数カウントに不正があったと主張し、結果的に外国から第三者を立ち会わせての票数を数え直すという異例の事態になりました。選挙から3週間経ちましたが、未だ次の大統領が決まっていないという異例の事態になっています。（何じゃそら！って思うのは僕だけかな？）

大統領候補者双方が勝利宣言をし、もう一方の勝ちを認めない状況に、それぞれの候補者は支持者に対してデモを呼びかけました。その呼びかけに呼応した民衆が町のあちこちで指示する政党のシンボルカラー（与党は青、野党は赤）を模した旗を掲げ、大規模なデモに発展し、一部は暴徒化し、鎮圧しようとする警察官ともみ合いとなり、首都テグシガルパでは死傷者（死者3名と報道）を出す惨事にまで発展してしまいました。また、ショッピングモールに暴徒化した市民が商品を略奪する場面もあったようです。

この事態に現政権は toque de queda（夜間外出禁止令）を発令しました。夕方6時～朝6時まで警察官が道のあちらこちらをガードし、もしその時間にうろうろしようものなら最悪の場合逮捕される事態に。土井先生がいる Cholteca はデモこそあっても暴徒化まではしていませんが、市民生活には大きな影響が出ました。銀行やスーパーなどが午前中に閉まる上、商品がスーパーになかなか届かなく、生鮮食品が手に入りやすくなるなど。幸い学校は長期の休みに入っているため、授業等には影響はありませんが・・・。

日本にいと夜間外出禁止令なんて想像もつかない境地です。好きなときに出かけられることがこんなに幸せなことだと感じさせられました。今は一部の地域を除いて夜間外出禁止令は解除されましたが、JICA は私たちボランティアに国内移動を解禁していません。旅行はおろか、隣の県に行くこともできません。また、仮に行くにしても主要な国道では警察が検問を張っていて、ID を見せれば通行できますが、通行する車や人を厳しくチェックしています。大統領選挙が市民生活に火種としてくすぶり続けていることがはなはだ疑問ですが、早く落ち着いて一日も早く元の生活が戻ってくることを祈ってやみません。